

新県立体育館整備・運営事業

ユニバーサルデザインワークショップ

みんなで考える、だれもが使いやすい体育館

UDワークショップは、専門家や設計者、そして県民のみなさんが一緒になって、「だれもが使いやすい体育館・公園」を考える場です。障がいのある方やご家族も参加し体験や意見を共有しながら、みんなで未来の体育館をつくりましょう。

令和7年11月8日（土）13:30-15:30（受付13:00～）

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

〔主催〕

秋田アリーナPFIパートナーズ株式会社

〔後援〕

秋田県

※当日はマスクの取付を想定しております。

新秋田県立体育館

ホームページです



問い合わせ先：akitaudws@gmail.com



募集人数

募集人数：約20人

対象：障がいの有無に関わらず、県内在住の方

参加費：無料

※応募多数の場合は、先着順となります

申込締切日

令和7年10月30日（結果通知：参加者には11月3日までに送付）

応募方法：①右側のQRを読み取り、応募フォームからご応募

②裏面の応募用紙に記入してご応募

※応募方法①または②のいずれかの方法でご応募ください。

※荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。



①設計説明

「スポーツ環境とユニバーサルデザイン」

だれもが使いやすい体育館・公園の実現に向けた設計の説明
未来の体育館、公園、みんなが集まる場としての新秋田県立
体育館の提案

講師 仙田 満 先生

（基本設計者 東京科学大学名誉教授）



仙田 満 先生

株式会社環境デザイン研究所会長（創設者）
東京科学大学名誉教授
こども環境学会会長
こどもの遊び環境を研究し、「遊環構造」や「D
字体」という設計手法によって国際教養大学中
嶋記念図書館、石川県立図書館、長崎スタジア
ムシティ、エディオンピースウイング広島など
様々な施設をデザイン

②ミニレクチャー

「(仮題)ユニバーサルデザインワークショップの事例紹介」

新国立競技場を題材にワークショップで行ったこと、実際に改善されたこと
などを紹介し、着眼点や可能性を伝えます

講師：高橋 儀平 先生

（東洋大学名誉教授）



高橋 儀平 先生

東洋大学名誉教授

日本福祉のまちづくり学会理事

国立競技場建設のユニバーサルデザイ
ンアドバイザー、国交省建築設計標準
フォローアップ会議座長、東京都福祉
のまちづくり推進協議会会長など。
ユニバーサルデザインの専門家

③グループディスカッション

「(仮題)「バリアを感じた経験談トーク」(仮題)」

みなさまをいくつかのグループに分け、
ディスカッションを行います

④発表 / 講評

新県立体育館整備・運営事業
ユニバーサルデザインワークショップ

応募用紙

*印の項目は、必ずご記入ください。

ふりがな 氏名 *	年齢		性別*	男・女
連絡先	住所				
	電話（携帯可）*				
	E-mail(重要) *				
車椅子の 使用*	有 ・ 無	付添者*	いる（1名まで） ・ いない		
障がいの 有無*	有 ・ 無	障がい名			
質問、 ご要望	（付添者がいる場合、付添者の氏名と関係を記載してください）				

応募用紙の送付先： akitaudws@gmail.com

※応募用紙に記入のうえ、スマートフォンで撮影し、上記メールアドレス宛にメール送付してください。

※スマートフォンをお持ちでない方は、PCで下記URLから申し込み可能です。

<https://www.shimz.co.jp/construction/ShinAkitaKenritsuTaiikukan/index.html>

大切なおしらせ

- 1) 応募多数の場合は、先着順となります。結果通知は参加者にのみ送付いたします。ワークショップ当日の注意事項や来場手段につきまして、後日連絡いたします。
- 2) 荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。
- 3) 当日はマスコミの取材を想定しております。
- 4) 上記の個人情報は、ユニバーサルデザインワークショップ開催に関する目的のみに使用します。

応募フォームからも
申し込み可能
(スマートフォンが必要)



こどもワークショップ



みんなでつくる新県立体育館！

第1回：にぎわう体育館・公園を考え、アイデアを広げる

令和7年11月15日（土）13:30-15:30（受付13:00～）

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂

第2回：さらにアイデアを深める

令和7年12月13日（土）13:30-15:30（受付13:00～）

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

新しい体育館の「みんなの居場所」を考えるワークショップです。
こどもと保護者、そして地域の人たちが一緒になってアイデアを出し合い、楽しく・使いやすく・ほこれる体育館と公園を、未来に向けてつくっていきます。

お問い合わせは
新秋田県立体育館
ホームページまで



※当日はマスコミの取材を想定しております。



募集人数

募集人数：50人 参加費：無料

対象：小学生（保護者とペアで申し込んでください）

中学生、高校生

※兄弟姉妹での参加も可

※ワークショップは、両日とも参加できることが望ましいですが、どちらか1日だけの参加も可能です。

※応募多数の場合は、先着順となります。



申込締切日 令和7年11月6日

（結果通知：11月10日までに送付）



応募方法

①右側のQRを読み取り、応募フォームから応募

②裏面の応募用紙に記入してご応募

※応募方法①または②のいずれかの方法でご応募ください。
※荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載します

第1回

にぎわう体育館・公園を考え、アイデアを広げる

設計説明：「アリーナ こども達の居場所」（仮題）

講師 仙田 満 先生

（基本設計者 東京科学大学名誉教授）

ミニレクチャー：「こどもにやさしいまち」（仮題）

講師 浅野 耕一 先生

（秋田県立大学システム科学技術学部 准教授）

グループディスカッション

各テーブル発表（2～3分×5グループ）

講評・まとめ

第2回

さらにアイデアを深める

設計説明：「県民利用機能（こども）提案」

前回ワークショップの意見も踏まえた設計案の説明及び模型プレゼン

講師：仙田 満 先生

（基本設計者 東京科学大学名誉教授）

グループディスカッション

5～6人/5テーブルに分かれて

「設計案に対する意見や追加提案」

各テーブル発表（2～3分×5グループ）

講評・まとめ

講師



仙田 満 先生

株式会社環境デザイン研究所
会長（創設者）
東京科学大学名誉教授
こども環境学会会長



浅野 耕一 先生

秋田県立大学システム科学技術
学部 准教授
建築環境システム学科
建築・都市アメニティグループ

【主催】
秋田アリーナPFIパートナーズ株式会社

【後援】
秋田県

問い合わせ先：akitachildws@gmail.com



新県立体育館整備・運営事業
こどもワークショップ

応募用紙

*印の項目は、必ずご記入ください。

ふりがな 氏名 *	性別 *	男 ・ 女
学校名 *	学年 *	小・中・高 年生
ふりがな 保護者氏名 *	関係

小学生の場合、保護者の情報を記載してください。

連絡先	住所	
	電話（携帯可）*	
	E-mail(重要) *	
参加日 *	<input type="checkbox"/> 2025年11月15日（土）	<input type="checkbox"/> 2025年12月13日（土）	

ワークショップは、両日も参加できることが望ましいですが、どちらか1日だけの参加も可能です。

質問、 ご要望	※他の所属団体名がありましたら、記載してください。
------------	---------------------------

応募用紙の送付先：akitachildws@gmail.com

※応募用紙に記入のうえ、スマートフォンで撮影し、上記メールアドレス宛にメール送付してください。

※スマートフォンをお持ちでない方は、PCで下記URLから申し込み可能です。

<https://www.shimz.co.jp/construction/ShinAkitaKenritsuTaiikukan/index.html>



応募フォームからも
申し込み可能
(スマートフォンが必要)

大切なおしらせ

- 1) 応募多数の場合は、先着順となります。結果通知は参加者にもみ送付いたします。ワークショップ当日の注意事項や来場手段につきまして、後日連絡いたします。
- 2) 荒天時など中止の場合は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。
- 3) 当日はマスコミの取材を想定しております。
- 4) 上記の個人情報は、こどもワークショップ開催に関する目的のみに使用します。

